

事務事業名	スマート農業普及支援事業				担当	産業部 農政課 農政係			
政策名	3	「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）		
施策名	1	農業の振興				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠						☒ 毎年度実施（開始年度 5 年度～）			
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	3.農業振興費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
予算科目									
予算科目									
事業概要	高精度な位置補正を提供するRTK基地局を整備することで、担い手不足による耕作放棄地の増加を防ぐ。あわせて、RTK基地局を活用するスマート農業機械の導入補助を行うことで、担い手の安定した農業経営を支援する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）					④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
6年度実績 RTK基地局整備に向けたスマート農業推進方針の策定					名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
					ア 基地局利用数		件				14	20
					イ							
					ウ							
					エ							
					オ							
7年度計画 RTK基地局を整備するとともに、RTK基地局を活用するスマート農業機械の導入補助を行う。また、スマート農業の推進を図るため、芳賀農業振興事務所等の関係機関と連携し研修会等を実施する。												
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等					⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
認定農業者 認定新規就農者 その他、農業者					名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
					ア 認定農業者数				535	521	529	535
					イ							
					ウ							
					エ							
					オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）					⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
スマート農業に関心を持たせることで、耕作面積の拡大を図り耕作放棄地の増加を防ぐとともに作業の効率化や省力化を図り安定した農業経営を目指す。					名称		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
					ア 集積面積率				63.8	62.3	66.9	68
					イ							
					ウ							
					エ							
					オ							
② 総事業費の推移				単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	1,391	0			
			県支出金	千円	0	0	0	1,456	3,500			
			地方債	千円	0	0	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0	0	1,576			
			一般財源	千円	0	0	0	4,176	0			
	事業費計（A）			千円	0	0	0	7,023	5,076			

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 担い手農家の高齢化や後継者不足などから遊休農地の増加が懸念されていることから、遊休農地解消に向けスマート農業を普及することは地域農業の持続に不可欠である。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 市が事業に関与することで、地域農業の実情を把握し、スマート農業の利用促進を図ることで担い手の農業経営を支援することが可能となることから必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 本事業における対象と意図は、スマート農業を活用する者であり地域農業を持続していくため必要不可欠であり妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地はない ☒ 向上余地がある (評価理由) スマート農業の推進するため、関係機関と連携し効果的な推進方法を検討する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） ☐ 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） ☒ 類似事業はない (評価理由) 他の事業と類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 事業費に削減の余地はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td> </td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																						